

# ケアセンターけやき

症 例 概 要 利用者：90代 男性 要介護1

利用期間：令和2年9月～現在

既往歴：右脳梗塞・糖尿病・肥大型心筋症・腰部脊柱管狭窄症・右下腿骨折術後

経過：平成24年11月初旬より2回/週で竹川病院通所リハビリテーション利用開始。平成25年11月に体調不良で長期休みとなる。平成27年8月より1回/週で利用再開。令和2年6月より2回/週に増回となる。長年竹川病院通所リハビリをご利用されながら在宅で過ごされていましたが、身体機能の低下が著明で歩行時のふらつき、すくみ足が増加し、また、意欲や体力の低下がありご本人の疲労感も強く、ご自宅での入浴が難しくなり、令和2年9月より、入浴目的で通所リハビリと同じ建物にある当事業所のデイを紹介され利用開始となる。

## 内 容

令和2年9月より、通所リハビリテーションと併用で、入浴目的で週1回からけやきデイサービスの利用開始となりました。

常時手のしびれを訴えられ、その他低血圧で歩行時もふらつきが顕著であり、また体力の低下により、疲労感強いことから、長時間の座位保持も困難で、活動に対しても消極的で活気もなく、横になられたり、座っていてもほとんど目を閉じていることが多く、あまり笑顔も見られない状況でした。

入浴も当初は、デイでは入りたくないと言っていました。職員で利用者さんの対応について改善点を話し合い①入浴について、ゆっくりと落ち着いて入れる状況を設定する②体力をつけるために食事をしっかりとってもらう必要があるため、昼食前に静養の時間をとり、疲れをとれるようにする③意欲の低下に関しては、利用者さんとの会話の場を増やす④疲労に関しては、午前午後と静養の時間を設けるが、徐々に午後の離床の時間を増やす⑤ご本人が参加しやすい活動へ誘導していくことを職員で共有し行っていました。

徐々にデイでの過ごし方に慣れてきて、職員との会話でも良く笑顔が見られるようになってきました。午後の離床時間も増えてきて、午後はいろいろな活動に参加できるようになりました。

入浴は一番の楽しみになり「お風呂はいいね」と毎回楽しみにされています。

レクを通じて、他の利用者さんとの関りも増え「皆さんの顔を見て、お話しするのが大好きです。人間って素敵だなと思います。長く皆さんと過ごしていきたい」とのお言葉もいただく事ができました。

利用当初は週1回のご利用もためられていましたが、現在は週4回のご利用となっています。ご家族からも「家にいると寝ているだけだったので、本当に良かったです」と喜ばれています。

利用当初は週1回スタートでしたが、活動量と他利用者さんとの関りが増えることで、楽しみを見つけられ、週4回までの利用に増え、現在レクにやりがいを持たれて日々過ごされている事はキラキラ介護賞に値するとし、推薦させていただきます。